

平成19年度第6回小平市図書館協議会要録

1 日 時 平成20年3月27日（木）午後2時～4時20分

2 会 場 中央図書館会議室

3 出席者 図書館協議会委員 8名 欠席5名 傍聴者なし

4 配布資料 資料については省略させていただきます。

5 議題等

(1) 報告事項

① 図書館運営状況について

・図書館行事等の報告と今後の予定

2月2日から3月6日まで「郷土写真展」を市内全図書館で開催

2月4日から2月8日まで児童図書学校の学校・公共施設向けリサイクルの実施

2月13日小平図書館友の会主催の図書館利用者懇談会が開催される。

2月16日、23日、3月1日昔話講座「マザーグースの世界をのぞく」を開催

2月27日児童文学講演会「インド世界から子育てと教育を考える」を開催

3月13日図書館障がい者サービス交流会が開催される。

3月25日春休み子ども科学講演会「からだのしくみ探検・ほねはどうやってうごくのだろう」を開催

・視察の受け入れ

3月14日いわき市総合図書館、3月17日愛媛県立図書館、3月28日国立国会図書館関西館

・ブックリサイクル 2月16日中央公民館ギャラリーで開催

・こだいら子ども読書月間4月1日から5月6日まで市内全図書館で実施

・平成19年度月別貸出状況について

・広域利用市別貸出状況について

② 3月市議会定例会について

一般質問は、23人の議員から65件の質問があり、図書館に係るものは2件あった。

・朝の10分間読書を推進しよう

・三たびビジネス支援図書館について

・予算特別委員会 3月7日に開催され、5名の委員から6件の質問があった。

・学校図書館支援センター推進事業について（2件）

・図書館総合情報管理システム事業について

・システム入れ替えに伴う図書館の休館について

・開館時間のフレックス化について

・図書館でのパソコン利用の現状について

③ 子ども読書活動推進計画について

平成17年に作成し3年間の実施期間を定めていたが、本格的な推進計画の改定は22年度に行うこととした。その間の20, 21年度については、現在の実施計画を2年間延長することで推進計画をまとめた。

現在、国は第2次子ども読書活動の推進に関する基本的な計画を策定中であり、東京都もそれを受けてこれから策定することになっているため、小平市としてもそれを受けて内容を精査する必要があること。また、小平市の子ども読書活動推進計画の達成状況は、コンピューターによる総合的な蔵書管理システムの導入、学校図書館の蔵書のデータ入力達成され成果があがっており、課題である調べ学習等の共同研修の推進、学校図書館の配送システムの検討、学校図書館と市立図書館の相互利用については、現在取組中の学校図書館支援センター推進事業に大きくかかわりを持っているため、その事業の結果を待って今後の方針を決める必要があることから、延長する。

④ 学校図書館支援センター推進事業

20年度についても当初予算に計上し、4月から実施することで進めている。学校図書館協力員の募集を3月5日号の市報で行った。欠員となった4校4名について募集し29名の応募があった。20年度事業は、協力員の配置と小中学校全校対象とする教科学習に必要な図書の貸出・搬送を大きな柱とし、継続して実施する。図書の搬送は、5月の連休明けから週1回水曜日に配送便を巡回させる予定である。19年度の主な事業は、学校図書館協力員の活動、配送便の運行、学校図書館利用ガイドブックの作成である。

⑤ ビジネス支援コーナーの設置について

花小金井図書館にビジネス支援コーナーを設置し、図書、資料、ガイドブック等を別置した。現在利用状況を調査している。

⑥ 小平市史料集30集の刊行について

小平市の古文書整理事業は、昭和50年から着手し17年間で約27,000点の古文書の整理を終えて19冊の目録を刊行した。その後、平成5年度よりそれらの古文書を解読して史料集を刊行する事業を開始し、19年度までの14年間で史料集を30集まで刊行し、今回で最終巻となる。第1集から30集まで収録した資料数は5,196点で、目録に収録した資料の2割ほどを史料集に収録したことになる。今回刊行した30集の内容は「交通、運輸」で、旅行記のようなものも収録されている。販売は、市立図書館、市政資料コーナー、ふるさと村で行っており、1冊1800円である。図書館でも所蔵資料として貸出し対象になっており、都内の公立図書館、関係機関に寄贈している。

⑦ 小平市に関する新聞記事検索について

小平市の図書館の地域資料事業の1つとして、図書館や小平市に関する新聞記事の切り抜きを昭和52年から行っている。現在まで切り抜きの件数は58,000件を超え、70冊ほどの製本になっているが、冊子形態のため記事の全体的な検索ができなかった。今回新聞記事索引をデータベース化して目的の情報がすぐに調べられるように、図書館のホームページから検索ができるようにした。デ

データベース化するにあたり、図書館の目録規則による新聞記事登録規則を定め、記事の抄録を掲載している。今回検索できるようにしたのは、昭和52年度から平成14年度まで26年間分で、約50,000件である。これ以降の分も順次データベース化していく。

⑧ ブックリサイクル実施状況について

本年度のブックリサイクルは、例年より若干件数が多かった。

⑨ 危機管理マニュアルについて

多摩北部都市広域行政圏協議会の図書館専門員会で作成した危機管理マニュアルである。職員の中で活用していきたい。

<報告に対する質疑・応答>

委員 中央図書館、花小金井図書館にパソコンを利用できる席があるのか。

事務局 持参したパソコンを自分のバッテリーを使って利用できる席が、中央図書館1階に5席、2階参考室に3席ある。花小金井図書館では、読書室を利用している。

委員 学校図書館支援センター事業の配送業務は、週1回水曜日だけで足りるのか。

事務局 週1回で充分足りている。昨年実績は、小学校11校、中学校2校で、延べ84回3671冊が集配に利用された。

委員 まだ利用していない学校があるのか。制度を知らないのではなく、知っているが利用していないのか。

事務局 学校図書館司書教諭研究協議会等で学校に紹介する機会もあるが、利用は少ない。学校は授業時期が重なっているため、集中する場合は、図書館側も対応を考えていかなくてはならない。学校図書館ガイドブックを作成して、その中に配送便について記載してある。20年度はこれを小中学校の全教員に配布して周知を図っていく。

委員 見せてもらえるのか。

事務局 印刷でき次第お見せできる。

委員 史料集30集ができたが、まだ未整備のものはかなりあるのか。

事務局 史料集に載せたものが2割ぐらいなので、残りの8割ぐらいは史料集にできる可能性はある。

委員 具体的な計画はあるのか。

事務局 20年度以降検討していく予定である。

委員 史料集としてまとめられ、一応最終巻になることで、講演会などの計画はないのか。

事務局 実現できる努力をしてみたい。

委員 2月13日の図書館友の会主催の利用者懇談会の内容はどうだったのか。

委員 交流誌に乗っているのでご覧ください。お互いの理解が進んだ気がする。

(2) 協議事項

①平成20年度小平市図書館事業計画

事務局 平成20年度小平市図書館事業計画案について審議いただく。

基本的に中身は平成19年度と大きく変わってはいない。章立てについて、1基本方針、2推進事項、3実施事業とし、社会教育部門の各課と整合性を図るようにした。1基本方針では、国の動向について示し、小平市での基本計画における方針を4項目あげた。そして教育委員会として図書館事業をどう位置づけるか、教育目標における図書館施策をあげてある。2推進事項として主要事業が8つあげられている。この中で新しい項目は、③上宿図書館の空調機取り換えがある。実施計画に採択され、工事ができることになった。⑦小平市子ども読書活動推進計画の改定作業に着手については、改定の準備を、20年度、21年度の2年間かけて行うものです。⑧市史編さん事業との連携・協力については、20年度に組織機構の改定があり、企画政策部に市史編さん担当参事が置かれ、小平市の市制50周年を記念し市史編さん事業が進められることになった。それに対して図書館でも連携・協力が必要となり主要事業に載せた。

(2)改革推進プログラムについては、小平市では行財政の再構築を進めており、図書館でも①図書館施設の提供②図書館ボランティア事業の評価③図書館における多様な情報提供④利用者アンケート調査の実施の4項目について着手している。3実施事業として、20年度実施事業が23項目載せてある。19年度とほとんど同じであるが、(19)図書館施設の提供は、20年度後半には、事務手続きを整えて貸し出しをしていく予定である。視聴覚室については、放送設備の修繕を行い、快適な状態で貸し出しができるようにしたいと考えている。(23)利用者アンケート調査も、20年度には利用者の方々へのアンケートを実施することで計画し、アンケートの設計に取り掛かっている。以上が新規に追加したところである。なお、多摩島しょ子ども体験塾事業は、19年度限りの実施である。

<質疑・応答>

委員 アンケート調査について、どのような人を対象に、どのくらいのサイクルで、どのような方法で行うのか。

事務局 利用者アンケート調査については、サイクルについてはまだ定めていない。アンケートの目的は図書館の外部評価、利用者が図書館のサービスについてどのように考えているかを把握することであるので、毎年ではなく、ある程度の期間をおいて、1回限りではなく行い、対象については中学生以上を対象に全館一斉に行ってはどうかということで、調査項目、内容の検討を進めている。

委員 来館者を対象にするのか。

事務局 そのとおりである。

委員 来館者に渡して行うのか、アンケート用紙を置いて自由に書いてもらうのか。

事務局 来館の際に用紙を渡し、帰る時に回収をする方法で実施したい。

委員 結果は公表するのか、内部資料になるのか。

事務局 改革推進プログラムでは、内容と結果を公表することになっている。集計の方法、分析についてさらに検討を進め、早い時期の事業に反映できるよう検討

している。

委員 早い時期にアンケートを開始するのか。

事務局 20年度の前半には内容をつめ、できるだけ早い時期に調査を実施し、集計まで取り組めればと思っている。

委員 対象の人数は、どれくらいを考えているのか。

事務局 人数について具体的な数字は想定してないが、一定の期間実施しないとバラツキ、傾向の把握ができないので、1週間程度の期間を限って行うのが適当ではないかと思う。

委員 その間に来館した人が対象か。

事務局 そうである。中には複数の館に来る方もいるが、来館した館がチェックできれば誤差がなく集計できる。

委員 アンケート調査は今まで実施したことがあるのか。

事務局 今回が初めてになる。

委員 ①地域資料について、市内の市民活動関係の資料を集めないかという提案をしたが、どうなっているか。

②図書館ボランティアについての計画が試行になっているが、決まっていることがあればお知らせください。

事務局 ①市内の活動団体のパンフレットは、順次集めて整理をしている。

②改革推進プログラムでは、図書館ボランティア事業の評価について検討段階である。現在は、図書館ボランティアの現状確認をし、図書館ボランティアの評価表を作成している。評価については、資料も少なく種々のものを確認しながら、小平の図書館ボランティア事業をどう評価し、どう進めていくか検討している。20年度にはそれをある程度形にしたい。

委員 地区館へのインターネットができるパソコンの導入の検討となっているが、どうなっているか。

事務局 図書館側としては、地区館に導入をしたいとして実施計画にもあげ、予算要望もしているが、なかなか措置されない。引続き検討を続けていきたい。

委員 自分のパソコンを持ち込んでいる利用者はどの位いるか。

事務局 席が一杯になるようなことは聞いていない。

委員 カウンターで、パソコンを貸出してほしいという要望はあまりないのか。

事務局 貸出用パソコンの要望はないが、電源を使わせてほしいという要望はある。

委員 パソコン用の席について広報しているか。

事務局 積極的には広報していない。パソコンを使いやすい環境が整っているとは言いがたい状況にあり、使う環境がきちっと整えば、広報していきたい。

委員 子ども読書活動推進計画の改定に着手するとのことだが、前は庁内で委員を選んだが、協力員や活発に活動するボランティアを委員に入れるのか、事前に懇談会を行うのか。

事務局 公募の委員を入れた委員会を開くのか、懇談会を開いてその結果を図書館協議会に諮るのか、まだつめてはないが、庁内だけで作るのではなく、広

く意見を聞くように進めていく予定である。

委員長 それでは承認と決定した。

②平成20年度小平市図書館協議会日程（案）について

事務局 平成20年度小平市図書館協議会日程案について審議いただく。

基本的には19年度と同じように奇数月に開催することで、日程案を作成しました。

委員長 平成20年度の図書館協議会日程案について、承認してよろしいか。

それでは承認と決定した。